

階級日本一賭け全日本選抜柔道体重別選手権大会 100kg 超級で上川大樹選手が準優勝



1回戦を戦う上川選手(右)=5月13日、福岡国際センター

公益財団法人全日本柔道連盟主催の全日本選抜柔道体重別選手権大会が福岡国際センター（福岡市）で5月12日から2日間にわたり行われ、当社新入社員で京葉ガス柔道部の上川大樹選手が男子100kg 超級で準優勝しました。

この大会はロンドンオリンピック日本代表最終選考会を兼ね各階級の日本一の座を争うもので、男子7階級、女子7階級からそれぞれ8人の精鋭が出場しトーナメント方式で試合が行われました。

男子は100kg 超級など4階級が13日に行われ、上川選手は1回戦で立山広喜選手（日本中央競馬会）と対戦し優勢勝ちを収めました。

準決勝では4月の全日本柔道選手権大会で準優勝した石井竜太選手（同）を相手に開始47秒、大外刈りを決め一本勝ちしました。

決勝戦では七戸龍選手（九州電力）に一本負けを喫し、昨年の明治大学4年での優勝に続く大会2連覇は果たせませんでした。



準決勝で大外刈りを決める上川選手(左)